

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なのほな園		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 14日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R7年 1月 14日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境や体制整備が充実している。	・視覚的・構造的に伝えられる工夫を行っている。 ・活動や状況に応じて場所を工夫して行っている。	・施設は古いため、システムや設備は改善していけるとよい。 ・人的体制もさらに充実を図りたい。
2	子どもや保護者への適切な支援が行えている。	・日々のカンファレンスや職員間のコミュニケーションを大切に、気づきを拾い上げ共有し、支援の見直しや設定を随時行う。 ・子どもの得意も苦手もよい見通しの中で伝えられるよう伝え方の工夫をする。	・支援プログラムの周知を行う。 ・通い始めの保護者、子どもに対しても、気持ちの安心をしっかりと意識する。
3	保護者との共有・疎通も行えている。	・日々のやり取りを具体的に言い、なるべく対面での会話を心掛けている。 ・対応より、思いに寄り添うことをまず意識している。	・今行っている事の質をさらに向上できるように学び、会話をしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	・保護者のニーズを踏まえた実践はあるが、必ずしも積極的な交流がプラスになるとは限らない。 ・イベントも年齢の小ささなどから、人的配慮が必要な点で、交流が必要とは思えない。	・交流の可能なところは、保護者のニーズにより行えることをもっと周知していく。 ・災害時などの連携など、地域との協議を考え、開けた関りも考えていく。
2	園外に向けた情報の発信はやや少ない。	・公開は必要に応じて最小限で行っているため、広くは行っていない。 ・プライバシーにも配慮している。	・保護者に対しての丁寧な説明や、通い始めや変更、動きが大きい時など、定期的に伝え、共有し確認していく。
3	きょうだい児への支援。	・本人支援や保護者の所は細かく行えていると感じるが、兄弟への関りは保護者からの話があった時に対応している。 ・保護者の希望する支援とのズレも考えられる。	・保護者に対して、きょうだい児へのニーズの確認を行う。 ・学習会なども行っていく。